

### 家庭問題を上回る契約（創世記 39:1-3）

ニュースで非行に走る青少年が取り上げられるとき、必ずと言うほど、その原因に家庭問題の背景があり、親の責任があると言われる。家庭環境や親が悪いと傷になり、トラウマを抱え、自己嫌悪、自信喪失して、情緒不安定になるしかないと言われる。それは事実でしょうが、ほんとうに家庭環境が悪くなくて、親が悪いと、子どもは悪くなるのでしょうか。世の中はその法則で固まってしまっていて、そうなるしかないと言っていますが、聖書はその法則を完全にひっくり返します。私たちは、今日、ヨセフを通して、世の中の法則から出るようにしましょう。

ヨセフは、つらく、厳しい家庭環境で育ちました。自分の母親は弟が生まれるときに死に、母がいませんでした。義理の母親が3人、自分より年上の兄弟が10人もいてヨセフを殺そうとするほど憎んでいました。そのような家庭内で毎日生活をともにしていたのです。孤立感、恐怖を持っていたでしょう。世の法則で見ると、これで十分、傷と受け、自己嫌悪に捕らわれ、暗い思いで非行に走るしかないと言えるでしょう。しかし、ヨセフは、その法則を破って、まったく違う人生を歩きました。それは、**ヨセフは、家庭問題を上回る契約を知って握っていた**からです。アブラハム、イサク、ヤコブに与えられた神様の契約を、父親ヤコブを通して聞いていました。兄たちも聞いていたのに、耳を傾けなかったのですが、ヨセフは自分の契約として受け入れて握っていました。

神様の契約は、アダムとエバの時からはじまった創世記 3:15 です。メシヤ(キリスト)の他には希望はないということ、**キリストを送って人類を救うという契約**です。そのため、アブラハムが偶像の地から出て、「わたしが示す地」(カナン)に行きなさいと言われる

した。カナンは唯一の希望であるキリストが来られる地だからです。神様はキリストの約束をカナンの地として示されたのです。イサクは、人類の身代わりとして犠牲のいけにえとなられるキリストの贖いを体験しました。ヤコブは、キリストによって世界を生かすイスラエルという名前をもらいました。そのように先祖が契約を刻印して、次の世代に伝え、ヨセフにまで伝わったのです。それゆえ、ヨセフは死ぬ前に、自分の骨をカナンの地の先祖の墓に入れるようにと言いつ残しました。キリストの契約を堅く握っていたということです。父親のヤコブから、カナンに住んでいるのは、契約の民、神の民であるということを教え続けられていたはず。それゆえ、ヨセフは、キリストが来られる道を開く聖なる目的のために生きることを願っていたでしょう。神様が導き、力を与えてくださり、守ってくださるのも、キリストの契約の成就のためだと、ヨセフは契約を自分の契約として握っていました。

神様がすべてを上回る祝福をもって導き守られるという契約があったので、**家庭の状況が、契約に集中するための材料**となりました。つらく、苦しいことは事実でしたが、それをはるかに上回る契約があるので、状況に捕らわれず、上を見上げる材料、原動力となりました。世の法則に溺れると、勝利を得ることはできませんが、法則を破り裏切る契約を持っていると、ヨセフのようにすべてをひっくり返すようになります。なにかのせいにしたたり、状況や感情に流されるのではなく、契約に实际的に集中しましょう。家族間の葛藤は、契約のためだと神様にフォーカスを合わせて、神様に向かいましょう。家族がすべてだと思って家族愛に溺れているのなら、家族に亀裂が入って葛藤して神様を見上げる

ほうが良いのです。人は肉によって生きるのではない、たましいのある存在です。人から神様に、家庭から神の国にフォーカスを変える機会にしましょう。契約があるから、世の法則に捕らわれることなく、それを打ち破り勝利することができます。契約は、地のすべてを超える、天にある霊的なすべての祝福です。その祝福を受けるように、神様の時刻表の中で、さまざまなプロセスを通して、整えて、キリストの栄光が輝くようにしてください。

ヨセフは契約があったので、祈るようになりました。ただキリストの契約になるなら、何も問題になりません。そして神の霊に満たされるようになって、神様の計画を知るようになりました。夢の中で、ヨセフを通してキリストの栄光が現れ、暗やみの世を照らすという神様の計画を示されたのです。神様がともにおられ、決して捨てることなく導かれます。いつもともにおられる神様に、**キリストにあって集中するとき、神の霊に満たされて、自分を生かし、家庭、現場、世界を生かす人生を歩む**ようになります。

自分自身に、世の法則に流されているのではないのかと問いかけてみましょう。世の法則はすべてではありません。家庭環境、親のせいではありません。契約がないからです。答えは、本人が契約を回復することです。キ

リストが来られる契約を握っていたヨセフでした。いまは、ヨセフが待ち望んでいたキリストが来られ、完了された時代です。**イエスがキリストで、すべて終わりました**。これが契約です。イエスがキリストという信仰がないから問題になるのです。イエスがキリストと信じるなら、どんな状況でも、すべて終わった幸いな者です。死の陰の谷でも契約に集中しましょう。契約はすべてを上回ります。それが神様の恵みでわかるようになるでしょう。イエスがキリストならば、**神の国が臨むようになる**ことが契約です。地上のすべてを上回り、暗やみが砕かれ、みこころが成し遂げられ、上からの力が現れます。どんな弱さがあっても、問題にならない**聖霊の力が約束**されています。このような契約を回復して、具体的に体験するために、家庭環境が壊れるのを許されるのです。サタンの攻撃ですが、それを契約でひっくり返されます。契約を回復して、イエスはキリスト、神の国が臨むこと、聖霊の力が現れる約束どおりになるようにと祈りましょう。契約の中に入り、その成就を求め、具体的に現れるのを求めることが祈りです。そうすれば、生ける川の水が流れ出る体験をする 2022 年になり、すべてを生かすようになるでしょう。

#### 1部-創 39：1-3 家庭問題を上回る契約

なるほど/家庭環境がいくら悪くても契約がある人は、むしろその悪い環境が契約集中のきっかけとなり、生かす証人として勝利する。ならば/悪い環境のせいにしなくて契約を回復し、真の祈りで世の固まった図式を破るどんな返しの勝利者として立とう。

#### 2部：使徒 1：14 元旦メッセージ

なるほど/御座の祝福を中心に私の 24、教会 24、現場 24 を味わうと、私を生かし、教会が生かされ、現場と業そして世界を生かすようになる。

ならば/無駄な神経を消し、神様のものにフォーカスを合わせて、祈りを通して 24 を味わう信者になるう。